



内田えつし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

福祉のまちづくり条例で提案

浦安市特集 9月県議会一般質問

「幸せふくらむ明るいまちへ」を掲げ、浦安市から県議会へ活躍の舞台を移した内田悦嗣(うちだ・えつし)県議は、9月県議会でも一般質問に登壇し、すべての人が活動しやすいまちづくり実現を目指し、福祉のまちづくり条例に関し、整備基準の見直しなどを提案しました。また、六月の予算委員会質疑に続き、都県境問題を再び取り上げ、千葉県側の不利益を容認することのないよう、強く主張しました。主な質疑を特集します。



9月議会でも一般質問に登壇した内田悦嗣県議

ともに、ホームページに整備基準を掲載しています。さらに、ソフト面ではちばバリアフリーマップ」による情報提供や情報誌「ユニバーサルなまち」の作成配布などを行い、福祉のまちづくりの普及啓発に努めています。

内田議員 施設整備マニュアルの見直しを行う考えはあるか。

健康福祉部長 福祉のまちづくり条例は、届出の義務付け等により、一定の成果を挙げています。しかし、条例制定後、通称バリアフリー法が制定され、車イス利用者の駐車場の数や施設の出入口・廊下の幅の変更、バリアフリー化基準の充実強化が図られたところ。また、まちづくりに

内田議員 子どもから老年寄りまで、障害のある人もない人も、すべての人が活動しやすいまちづくり進めていくことにより、まちの活性化は高まっていくものと考えます。平成八年に施行された福祉のまちづくり条例に基づく整備基準について、現状での普及状況はどのようなになっているのか、伺います。

健康福祉部長 県では、整備基準の普及を図るため、施設整備マニュアルを作成し、関係機関への配布や事業者への有償頒布を行うと

とも、ユニバーサルデザインの視点から、オストメイと子育て支援等に配慮することも必要になっています。今後、高齢者や障害者をはじめ、広く県民の意見を聞きながら、誰もが利用しやすい施設や設備の整備に向けて、整備基準と施設整備マニュアルを見直していきたいと考えています。

要望 ユニバーサルデザインをもっと考えていただき

たい。これまでの県の取り組みについては、私は十分評価していますが、細かいところまで見ると足りない部分も見受けられますので、施設整備マニュアルを改訂していただき、法の規定より踏み込んだ検討を行ってほしいと思います。すべての人がまちの中

県基本人口推計値の公表迫る

内田議員 県の計画体系がおかしいことについては、私もこれまで指摘させていたでいています。そういう意味から、新たな基本構想として三カ年の実施計画を策定することは大いに評価しています。そこで、基本構想での人口推計はいつ公表されるのか、また、政策人口は設定するのか、伺います。

総合企画部長 人口推計結果は、最終的に二月の計画案とともに公表しますが、十一月に計画原案を示す時点で、人口推計の速報値を公表したいと考えています。また、人口減少時代を目前に控え、政策人口を示す

総合企画部長 地域別の人口推計は、人口推計作業の進捗状況等を見ながら、慎重に検討してまいりたいと考えています。

要望 地域別の人口推計は出してもらうよう強く要望します。市町村も活用できるし、積み上げもできます。

●県政や浦安市のご相談はお気軽にどうぞ――

内田えつし 県議事務所 〒279-0041 浦安市堀江3-22-1 TEL.047-351-6030

内田えつし県議プロフィール

経歴

- 昭和40年 浦安市(当時町)堀江生まれ
- 昭和63年 浦安市役所入庁(在職14年4カ月)
- 平成15年 浦安市議会議員当選
- 平成19年 千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 文教常任委員会副委員長
- 自民党県連 政務調査会審議委員 青年部副部長

都県境問題で再度論戦挑む

39年合意線を基本に協議

内田議員 昭和三十三年の合意線での合意以降、すでに四十年以上経過しています。

また、平成七年の文書からも十年以上が経過しています。この間、東京都側との協議はどのように進められてきたのか。

総務部長 東京湾内における都県境は、昭和三十一年から都県間で協議し、昭和三十三年に東京港の港湾区域の変更予定線を合意しましたが、都県境の確定には至らず、その後も協議が続けられてきたところです。

平成七年に「三十三年合意線は唯一都県間で合意した線であり、今後の都県境協議において都としても尊重し、三十三年合意線を基本として協議を進めること」



等を両知事間で合意しました。

羽田空港再拡張事業に当たり、平成十五年以降、知事による協議などを行い、都県境の確定や羽田空港再拡張事業に係る許可権の行使等について協議しました。

しかし、東京都は「都県境問題とは切り離したい」と主張し、都県境問題は進展しませんでした。一方、許可権の行使については、新滑走路の埋立地は三十三年合意線より東京都側にあるものの、工事施行区域が三十三年合意線にまたがっているため、千葉県と東京都が共同で工事施工の承認をすること、また、三十三年合意線より千葉県側に設置される東京西航路のブイについては、千葉県で事務

処理することとしました。

内田議員 パイプラインの課税問題では、県はどの

ような認識を持っているのか。総務部長 都県にまたがる固定資産税は、総務大臣

県堀江橋架橋の必要性認識

内田議員 葛南地域では、将来的にどのような道路構成になり、それを公表していく考えはないか。

県土整備部長 葛南地域は、首都圏の広域的な連携強化を図り、地域の南北軸として東京外かく環状道路の整備が平成二十七年の供用に向けて進められています。

合わせて東西軸として機能する国道十四号、国道三百五十七号及び(仮称)妙典橋を含む国道等の整備、さらには都県境の新たな橋梁の計画の具体化などを進

めていくところです。また、これら道路ネットワーク整備のあり方については、今後の財政状況や県の総合計画の策定などを踏まえて検討し、明らかにしていきたいと考えています。

内田議員 (仮称)堀江橋について、どのような検討が行われてきたのか、住民への説明を行う考えはないのか。

県土整備部長 堀江橋の架橋の必要性は十分認識しています。

堀江橋を含む都県境橋梁の検討では、昨年十一月の

企業庁の収束延期を求め

道路橋梁整備調整会議で、東京都と整備上の課題やスケジュールなどについて協議したところです。

その結果、昨年度は浦安

内田議員 企業庁の土地造成事業について、平成二十一年度上半期の土地分譲

貸付状況はどうか。また、年間見込みはどのようになっているのか。

さらに長期事業収支見通しと比較して、どのようになっているのか。

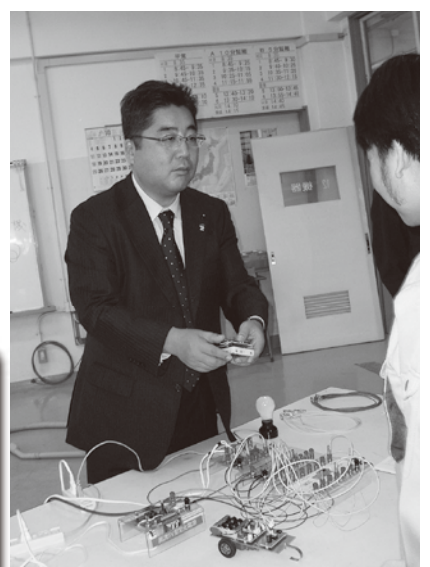


9月県議会の本会議場での再質問に臨む内田県議

また、昨年十一月に公表した長期事業収支見通しにおける平成二十一年度見込み額の二百五十億円と比較すると、不動産需要の落ち込みにより、百二十億円ほど下回るようになります。

要望 収支見通しを考えたとしても、二十四年度の事業収束は無理だと思えます。

一刻も早く収束延期を打ち出すべきであり、合わせて経営プランの見直しに着手すべきことを強く要望します。



委員会視察で京葉工業高校を視察する内田県議

浦安ダイスキ!

うちだ悦嗣

内田えつし県議

内田えつし県政報告会

日時

1月24日(日)午後2時

場所

市民プラザ Wave101